

スクール・ミッション、教育目標、スクール・ポリシー	1 スクール・ミッション 「国際社会で健やかにたくましく生き抜く力」「個性や特性を大きく伸ばす豊かな創造力」「社会に貢献できる能力・態度」の育成を教育目標とする単位制普通科高校です。国際理解教育、演劇コンクール、日本の伝統文化や多言語等授業といった特色ある教育活動を通じて、幅広い教養を身に付け、主体的にかつグローバルに活躍する生徒を育成します。
	2 教育目標 国際社会でこやかにたくましく生き抜く基礎・基本を培う。 個性や特性を大きく伸ばし豊かな創造力を養う。 社会に貢献できる能力・態度を育てる。
	3 スクール・ポリシー (1) グラデュエーション・ポリシー ア 多様な文化を尊重し共有することによって、よりよい社会を作ることができる「共生力」を育成します。 イ 新たな課題を見出し、その解決に向けて自身の考えを深め発信する「表現力」を育成します。 ウ 自己理解を深め、将来を切り拓くために挑戦し続ける「未来をつくる力」を育成します。 (2) カリキュラム・ポリシー ア 生徒の興味・関心・適性に応じた科目を選択できる単位制教育課程です。 イ 大学進学を見据えた、文系・理系に対応できる選択科目を設定しています。 ウ 様々な外国語を学べる選択科目の設置、海外の高校との協定による相互交流、オンライン英会話の実施などを行っています。 エ 演劇、農業、保育、芸術など、多彩な進路に対応した科目を設定しています。 オ 習熟度別授業や少人数制授業により、きめ細やかな学習指導を行います。 (3) アドミッション・ポリシー ア 英語や国際交流に関心をもち、将来、国際化が進む社会で活躍しようという意欲ある生徒を募集します。 イ 4年制大学等を目指す高い学習意欲を有し、探究心が旺盛で主体的に学ぶ生徒を募集します。 ウ 個性を認め合い、他者と協働して粘り強く努力する生徒を募集します。 エ 学習活動と部活動等を両立させ、積極的に学校生活を送る生徒を募集します。 オ 芸術文化活動に関心をもち、豊かな想像力とコミュニケーション能力をもつ生徒を募集します。
	中期目標と方策

単位制高校の特質を活かし、基礎的・基本的な学力の定着や、さまざまな進路実現に向けた学力向上を図り、学習活動・特別活動に主体的に取り組む生徒の育成に努める。その上で、一層魅力的な学校づくりに取組んでいく。そのため「文化の飛鳥」を掲げ、国際色豊かな文化の一層の育成・創造に努める。

中期目標と方策		今年度の取組目標と方策	今年度の重点目標と方策	数値目標(昨年度実績)
全体	1 【学習指導】日常の授業の工夫、改善を図り、生徒の主体的な学習意欲の向上を促して学力向上を図る。家庭学習時間の増加により、学習習慣、基礎・基本の定着や各自の進路に向けた学力の向上を図る。	①文科省のDX推進指定及び東京都教育ビジョン等に基づいて、デジタル技術を活用した様々な学習方法を取り入れて、積極的に推進する ②日々の授業に向けて、主体的な姿勢を育み、学習習慣の定着を促す。 ③教科会での情報共有、組織的な取組による授業力の向上 ④東京都主催や外部団体主催の教員向け研修に積極的に取組み、授業力の向上を図る。	○通年、生徒が端末を活用できる教育活動を実施。 ○模試等による情報を蓄積して事前、事後学習を各教科で実施する ○予習・復習を具体的に示し、自主的な学習習慣を定着 ○授業で読書指導を行い、読書活動を推進 ○長期休業中の講習の計画的実施 ○土曜・放課後補習の充実 ○基礎・基本の定着へ「ステップアップ学習」を年3回実施	○TeamsやClassiを授業(英語数理社)で必要に応じて常時活用 (ほぼ毎回の教員25%ほど) ○家庭学習時間、学年+1時間を40%以上の生徒達成(37.5%) ○読書をする生徒45%以上(43.6%) ○授業満足度75%以上(76.5%) ○準備をして授業に臨んでいる生徒80%以上82.6%

2 【国際理解教育】 「G E – NET 20 プレミア」 「海外学校間交流推進校」 指定校として、英語教育・国際理解教育を充実させる。 日本語指導を充実させる。	①国際交流行事の充実 ②英検等外部検定全員受験 ③授業、行事、LHRを通して、コミュニケーションやプレゼンテーション能力の向上を図る。 ④SDGs 教育の推進 ⑤日本語指導推進に向けた全校的な取り組みを実施する。	○英語検定、G TEC 等外部検定の指導 ○海外交流の推進、ネット、手紙等の間接的な交流の工夫、大使館等との連携、講演会等の充実 ○対外・ドマコンテストの実施 ○大学や外国語専門学校と連携した校内研修会実施や授業参観・実践を行う。	○実用英語検定準2級以上合格者数80名(98名) ○SDGs、大使館等講演会(SDGs 講演1回、大使館講演3回) ○コンテスト実施（1年）
3 【キャリア教育】 キャリアガイダンス部主導で3年間を見通した系統的なキャリア教育により職業的自立意識の醸成を行い、将来設計に基づいた進路指導を進める。社会変化に対応できる人材の育成を図る。	①全学年でのキャリア教の実践と進学指導の充実 ②大学入試改革に伴う指導体制の見直し。 ③長期休業中や土曜の講習等の計画的実施による基礎学力の徹底と受験突破力の向上 ④推薦入試に向けた1・2年次からの指導 ⑤職業的自立意識の醸成	○大学・研究機関等外部団体主催の校外活動への参加を推奨する。 ○各種検定や資格に積極的に挑戦するよう指導する。	○英検、漢検以外の検定等合格者数30名(情報4名、漢検0名) ○校外活動参加者200名以上(232名) 〈1年次全員〉↑ ○インターンシップ参加者70名以上(49名) ○1・2年次の上級学校見学全員1校以上
4 【生活指導】 自らを律し、適切に判断して決定・実行する力の育成を図る。言葉を大切にする。生命尊重、自他を大切にして、相手を気づかい、いたわる心が持てる人間を育成する。防災教育を行い、防災の意識を育てる。	①生徒が自らを律し、適切に判断して決定・実行する力の育成に取組む。 ②SOS の出し方についての教育を推進するとともに、確実に受け取る体制を確立する。 ③いじめの未然防止・自殺防止に取り組み、人権尊重の教育を推進する。 ④校内美化・緑化の推進 ⑤防災訓練の実施	○時間遵守、マナー・身だしなみ等の指導を全校体制で行う。 ○生命尊重についての講話や講習を行う ○事故や問題行動の未然防止のため予防的指導を行う。 ○全校体制で清掃活動を行い、校内の美化に努める。 ○学校安全計画を策定し、防災教育、薬物乱用防止教室等、生徒の安全に関する指導を徹底する。	○挨拶や声かけ、服装指導の継続 ○提出物、遺失物の減少 ○いじめ(0件) ○特別指導ゼロ(5件)
5 【広報活動】 「文化の飛鳥」を掲げ、本校の教育に理解と共感を抱く保護者、生徒の拡大を図り、進路や国際理解教育に意欲的に取り組む生徒の獲得を目指す。	①全校体制での宣伝広報活動 ②総務国際部を中心に、効果的・効率的な広報活動を展開 ③DX やSNS の活用 ④体験授業の充実	○全校体制で、中学校や塾との間で情報提供と情報獲得を推進する。 ○HP の各部活動の更新 ○全校体制での学校説明会、授業公開、授業体験、部活動体験の実施	○入選中進対倍率1.2倍(0.86倍) ○中学校塾情報提供回数150以上(中学校253回、私塾370回) ○部活動報告の充実(HP144回、X40回、Instagram7回)
6 【学校経営】 教育公務員としての高い使命感・倫理観をもち、服務規律を遵守し、協働意識を持ち、ライフ・ワーク・バランスを図る。	①服務事故防止の徹底 ②個人情報の管理の徹底 ③情報共有化と会議の効率化 ④学校における働き方改革推進プランに基づき、会議の時間短縮等を推進する。 ⑤体罰・暴言・不適切な指導根絶 ⑥男性教職員の育休取得促進	○成績管理の徹底(点検ペアを決定→教務に報告→確実な点検実施 ○企画調整会議、職員会議の効率化 ○分掌や学年の連携により、業務の効率化を図る。 ○管理職からの声掛けによる育休取得促進	○服務事故防止研修実施(3回) ○服務事故ゼロ(3件) ○在校時間が80時間／月を超える教職員ゼロ ○会議議事録等の情報共有 ○会議時間60分以内 ○体罰・暴言ゼロ(0件)

教科	7 教育改革、入試制度改革に対応した、指導体制・指導方法・指導内容を研究し、教科としての一層の指導の充実を図る。生徒が主体的な学びを行う場面を授業に取り入れる。また、教養主義に基づいて単位制の強みを活かした授業や講習を実施する。	①模試、共通テストの結果分析を実施し、教科指導に反映させる。 ②多様化する大学入試の情報収集と分析、指導方法の探究 ③新学習指導要領を踏まえた指導内容、方法の改善 ④好奇心を持ち、自ら主体的に学習に取り組む生徒の育成 ⑤教科横断の学習実践	○模試、共通テストの結果について、教科会で分析し、職員会議で報告する。 ○大学入試問題の分析 ○分析結果に基づくシラバスの改定 ○補習、補講の充実 ○教科会での情報の共有化	○「教え方の工夫」への生徒の肯定評価 75%以上 (72.0%) ○補習・補講 50 講座 1000 人以上(46 講座 987 人)
部活動	8 部活動の一層の活性化を図り、集団や社会の一員としての自覚と行動力、協調する態度を育てる。	①部活動の参加を推進し、活動内容の充実を図る。 ②大会参加、発表に主体的に参加させ成就感や自己肯定感を得られるよう指導する。 ③文科省・都のガイドラインの遵守	○部活動への参加の促進 ○外部大会、文化祭等への参加、発表等を充実させる。	○部活動加入率 90%以上 (86.8%) ○都大会以上の公式戦・大会参加回数 20 回 (20 回)
学年	9 3 年間を見通した継続的・計画的な指導を通して、主体的に行動する生徒の育成を図り、志の高い進路希望の実現を図る。	①面談やHR活動を通して生徒理解に努め、学習・行事等への積極的姿勢を育てる。 ②キャリアガイダンス部と連携し、進路情報の提供により進路意欲を高める。 ③生徒部と連携し、礼儀・身だしなみ等の指導を行い、規律ある学級運営を行う。	○家庭学習習慣の定着と充実 ○規範意識の向上 ○模試データの活用による進路指導 ○面談、カウンセラーとの連携により、生徒理解を深めきめ細かく指導を行う。	○1 日あたりのクラス平均遅刻人数 1 未満(1.73) ○学校生活が充実している生徒 80%以上(89.0%)
総務国際交流部	10 保護者、地域、都民の信頼を得る学校づくりの推進へ、保護者、地域と連携を深め、宣伝広報活動を充実させる。本校の教育活動を理解し志望する受検応募者を増やす。国際理解教育を充実させ、グローバルな視野を持ち、将来の国際的な社会で活躍する人材を育成する。本校 30 周年記念行事を推進する。	①地域、中学生に向けての情報発信を強化し、授業見学や体験授業、部活動体験などを通して本校の教育活動を理解し志望する受検者を増やす。 ②国際社会で生き抜く生徒の育成に向け、国際理解教育を充実させる。	○HP、パンフレットの改善による情報発信の強化 ○全校体制での宣伝広報活動の実践、体験活動の充実 ○生徒の活用 ○SNS の活用 ○宣伝動画作成 ○来年度スクールガイドの 4 月納品 ○学校運営連絡協議会、PTA の協力 ○姉妹校、受け入れ等海外交流の充実	○HP 更新回数 200 回以上(144 回) ○学校説明会来場者数 3000 名以上(2424 名) ○在日大使館、海外留学生による講演 3 回 (3 回) ○訪日高校生等との交流 2 回 (2 回) ○オンライン、手紙等による海外学校との交流 (フランス及び韓国)
教務部	11 単位制の特色を活かした教育活動の環境整備を行い、教育課程に基づき組織的・計画的に質の向上を図るカリキュラムマネジメントを推進する。また、日本語指導の一層の充実を図る。	①新指導要領に基づいた新しい教育課程の編成 ②成績処理システムを活用した成績の適切な処理 ③入選業務の適切な遂行 ④在京外国人の学習環境の整備 ⑤教職員の日本語指導への理解深化	○新教育課程の編成 ○成績処理システムの管理・運用 ○入選業務の適切な遂行 ○在京入試不合格者への対応 ○日本語教育等、在京外国人の学習環境の整備 ○火曜日と金曜日の日本語指導の参観または指導体験に基づく教科指導の改善	○入学選抜業務事故ゼロ ○日本語指導参観または指導体験を年間で 1 回以上

生徒部	<p>12 学校行事を充実させ、社会の一員としての自覚を持たせ、主体的に取り組む生徒を育てる。生命尊重、自他を大切にする。身だしなみ、礼儀指導を徹底し、規範意識を高める。生徒の健康の保持、増進及び体力の向上を図り、心身ともに健康な人間の育成を目指す。</p>	<p>①行事や部活動の活性化により活気あふれる学校生活を作る。 ②礼儀、身だしなみ指導を徹底し、規範意識を育てる。 ③東京都特別支援教育推進計画等に基づき、特別な支援を必要とする生徒への取組を充実させる。 ④心身ともに健康な学校生活を送れるよう TOKYO ACTIVE PLAN for studentsに基づいた支援体制を充実させる。</p>	<p>○行事、委員会等での生徒の主体的な活動の指導 ○校門指導、頭髪指導を通して、基本的生活習慣の確立、社会人としての常識や規範意識を身に付けさせる。 ○カウンセラーと連携し、教育相談体制を充実させる。 ○安全衛生教育を行い、健康知識の普及により、健康安全に配慮した学習環境を整備する。 ○校内美化・緑化の推進</p>	<p>○行事の満足度 90%以上 (89.6%) ○特別支援教育に関する委員会の開催回数 10 回 (10 回) ○学校が健康管理に取組んでいると思う生徒 90%以上 (80.9%)</p>
キャリアガイダンス部	<p>13 進学指導研究校としての取組を進めるとともに、進路情報や進路資料を整理し、教員間での共通理解が図れるよう積極的な情報提供を行う。3年間の継続的・計画的なキャリア教育を学年と連携し充実させる。</p>	<p>①全校集会、学年集会、プリント配布等により進路意識の啓発を図る。 ②模擬試験を活用して、生徒の学力の定点観測を実施する。 ③長期休業中の講習計画策定 ④学年と連携して、系統的・計画的なキャリア教育を行う。 ⑤デジタル技術の有効活用 ⑥模試を活用した進路指導 ⑦CG室の資料の充実</p>	<p>○学習支援ソフト「Classi」等の利用率の向上 ○模試を活用した生徒の学力把握と全教員の情報共有、学習指導への活用 ○収集した進路情報の分析と校内への周知 ○統合型選抜 (AO)、学校推薦型選抜の情報収集と教員への周知、指導方法の研究、指導体制の構築</p>	<p>○進路決定率 90%以上 (89.7%) ○四大進学率 70%以上 (66.8%) ○模試結果分析会 4 回 ○オンライン学習支援システムを月平均 10 時間以上利用する生徒 80%以上 (80.0%)</p>
経営企画室	<p>14 計画的な予算執行を心がけ、校内関係部署と連携し円滑な教育活動を支援する。</p>	<p>①管理職、関係教員と連携をとり、円滑な業務を実施し、業務の省力化を心掛ける。 ②複数対応、連絡、相談、報告を行い、服務事故防止を目指す。 ③丁寧で温かい窓口対応</p>	<p>○施設の老朽化への対応 ○計画的で効率的な予算執行 ○関係部署との緊密な連携</p>	<p>○一般需用費のセンター執行割合 60%以上(44.9%) ○予算調整会議による予算計画 ○計画的予算執行 ○会計事故ゼロ</p>